

2月号

広報

1984



と

No.138

昭和59年2月20日発行

発行所 神戸町役場
 電話 08945(代)2-0111
 〒796-05 愛媛県神戸町三机
 編集 企画課 整理課

見た、さわった、食べた、買ったに700人

—農産物共進会— (関連記事は10ページ)

会場で拾った声声……………

- ◆ ミカンの買は色で勝負やのう。
- ◆ 本になっている時に品評会用のミカン選別をしておいたらいいが、倉庫へ入れるとなかなか、ええがねえけんや。
- ◆ 4個買じ玉をそろえるのは、なかなかよ。
- ◆ ヘソが高かったらイケケン。
- ◆ 何を離いざらエエかいな。ボンカンがええんとちがうかな。
- ◆ ウドンと寿しは値段の割にしたら、うまい。
- ◆ あんたが、ええが出しとるやないかな。いや干ばつで悪かったケンそうでもないがなあ。



一月臨時議会

名誉町民第一号に元環境庁長官

毛利松平氏

新助役に前生活環境課長の上田氏

一月二十三日臨時議会が開かれ同日閉会された。上程された議案は名誉町民の選定、助役の選任など四議案でそれぞれ原案通り可決された。



名誉町民 毛利松平氏

▼名誉町民に前衆議院議員 毛利松平氏 大正二年七月十六日生まれ (七十歳) 現住所 東京都渋谷区上原 二丁目十二番三号 「選任理由」 「氏は衆議院議員を歴任し、永年にわたり国政進展と地方自治の育成発展に寄与され、その功績は卓越であります」 【そのあしどり】 毛利先生は本町の大江に生まれました。旧制大洲中学、慶応大学を卒業し、当時の満洲へ、大陸飛躍の熱気に燃えて渡り、国策の最前線にあって南滿洲鉄道(満鉄)に入社

し労働課長として活躍したが、終戦後の昭和二十一年に帰国、帰国後は政界入りを決意し、逆境のなか衆院選に第三区から出馬した。 落選すること三度、しかし不屈の闘魂はついに四度目に勝利を手中にした。昭和三十三年五月である。 以来、昨年十一月まで二十五年にわたり、九回連続当選の大記録を樹立し、その肖像画が院内にかざられた。 先生は旧制大洲中時代から柔道選手として活躍した。 慶応大学入学後は柔道のはか、剣道、空手道、合気道など武術全般にわたって精進し、あわせて二十四段という境界切つての高段者でもある。 五十五年四月には日本武道館の四代目理事長に就任現在に至っている。 当選三期目には外務政務次官、五期目には希望の大蔵委員長を政界では異例の二期にわたりに任じた。 又、自民党副幹事長、自民党県連会長と党の要職をこな

し、第二次田中内閣では国務大臣環境庁長官を二度にわたつて勤め、その間、自動車排ガス規制問題、パリで開かれた環境大臣会議に出席するなど縦横に活躍、その政治手腕を発揮した。 この二十五年間の業績は数えきれぬものではないが、県内の幾つかを拾ってみると、本四架橋・松山空港の拡張、四国縦貫自動車建設に始まり、国立青年の家、南予レクリエーション都市建設、夜昼トンネルの開通、国道一九七号バイパスの改良、鳥井橋木津線の改良事業等、そして今話題の四国・九州海底トンネルの調査研究と、選挙区を中心としながらも、県内各地に大局的な見方から尽力した事業は種々数多い。 ▼名誉町民とは 去る十二月定期町議会議員提案という形で名誉町民条例が上程され、可決している。目的・条件等はどのようなものなのか簡単にまとめてみた。 ▼瀬戸町条例・規則 (目的) ●この条例は社会、文化、産業の進展に卓越した功績があつた者について名誉町民の称号を贈り、これを顕彰する。 (条件) ●本町に三年以上居住している者、もしくは居住していた者又は、本町に縁故が深い者 ●産業の振興・社会福祉の増進または、学術・技能等文化の進展に著しい功績のあつた者。 ●町民が郷土の誇りとしてひとしく尊敬する者。 (選定及び顕彰) ●名誉町民は町長が議長の同意を得て選定し、その業績を公表して顕彰する。 (待遇及び特典) ●町の式典に参列する。 ●顕彰方法は、報道によるほか記念品を贈り、必要に応じて後世にまで伝える方法を講ずることができる。 ●死亡の際には、相当の礼をもって弔慰すること。 (称号の取り消し) ●名誉町民が本人の責めに帰すべき行為により名誉を失ひ、町民の尊敬を受けなくなつたと認めるときは取り消しすることができ。

助役就任にあたって 連携の潤滑油の役割を

瀬戸町助役 上田 實



去る一月二十三日の臨時議会において、議会の同意を得まして、その重責の任に就くことになりました。 若輩非才の身で役不足の感は免れませんし、もとより助役の器ではありませんが、私ごとき者でも役に立つことができればありません。 職責として学んだ経験を踏まえて町政の補佐ができればと誠に重い責任と、この身の精みを痛感しつつその職務に精励すべく、助役就任を決意した次第です。 幸いにして前任助役の大谷

それには先ず、行政職員が自ら意識の転換を図り、その資質を高め協力し、強い情熱と意欲をもって職務遂行に努力しなければなりません。 施策展開については、議会との連携を深め誠意をもって、ご意見を拜聴し、関係団体とスクラムを組み、一体化して強力に推進することが最も大切だと思います。 自身いまだに人間未熟でありますし、阿部町長も共に初の体験でありますので、至らぬ面が多々あるかと存じますが、町民の皆様は深いご理解を賜り連携の潤滑油の役割と町政のホームベースが守られるよう心がけて明るいあいさつをいたしますので何とぞよろしくご協力の程お願い申し上げます。

人事異動発令 課長級七人

二月一日付けで町幹部職員八人が異動されました。これは助役人事による補充と阿部町政の新管理体制を敷いたものです。対象者は課長級七名です。対象者は課長級七名です。対象者は課長級七名です。 () は旧職。○印は昇格者 ▼技師長兼企画調整課長 菊岡鶴喜 (技師長兼建設課長)

長) ▼町民課長 河野松彦 (町民課長補佐) 松本幸久 ▼生活環境課長 松本幸久 (教育次長) ▼建設課長 竹下昌光 (建設課長補佐) ▼産業課長 宮下 寛 (企画調整課長) ▼教育次長 清水太郎 (産業課長) ▼総務課長 松本幸彦 (町民課長)

季節の花 すいせん

三机から大江へ行く県道の下に群生しているすいせん。

町長日誌

- 1月 6日 郡町村会(八幡浜市) 町消防団出初式 7日 医師雇用(鹿児島市) 15日 各省庁予算要求(東京都) 23日 全員協議会、臨時議会 25日 建設省陳情(大洲市) 27日 施設事務組合総会(八幡浜市)



(写真撮影は、59年2月10日) その香りは道ゆく人々の心を和ませる。約四十〜五十年前からこの場所にあるとのこと。和名は漢字の水仙を日本読みしたもので、日本ものは真の自生ではない。昔、中国から渡来したもので、そのもとは地中海であるという。

瀬戸町基本構想 59-63年 基本計画

美しい自然と温かい人情が調和した 満ちたまち瀬戸!!をめぐりて

- 五 簡易水道**
- (イ) 地区単独水道を町営に移管し、町内簡易水道の一元化を図る。
 - (ロ) 南予水道企業団からの分水、日量1,000トンを受け入れるための施設整備を図る。
- 六 道 路**
- (イ) 国道バイパスの早期開通を働きかけ、現国道と鳥井喜木津線を含む地区への連絡道路を整備し、生活圏の拡大と産業経済の発展に資する。
 - (ロ) 車の入る家をめぐらした生活道路の整備を推進する。
 - (ハ) 現国道の改良と路面の補修をし、安全で快適な道路整備を図る。
 - (ニ) 観光誘導を促すため、国道バイパスから屋根へ通する2車線道路の整備を推進し、体憩型、滞在型の観光開発の発展に資する。
- 七 運輸・通信**
- (イ) 国道バイパス開通に合わせ、特急バスの運行を促進するとともに停車場周辺の整備に協力する。
 - (ロ) みさき丸を存続させ、広域的配慮により乗降客の増加を促進する。
- 二 住 宅**
- (イ) 老朽化した町営住宅を計画的・重点的に改築する。
 - (ロ) 民間住宅の建替え促進を

- 第一 憩いとやすらぎをめざして**
- 一 公園・緑地**
- (イ) 核となる公園を早期に完成し、家族ぐるみで利用できる公園をめざす。
 - (ロ) 本町の地形を最大限利用した、海浜公園の整備を図る。
 - (ハ) 地域住民一体となったところの施設整備を充実し、又町民の協力で公園の維持・管理に努める。
 - (ニ) 町花・町木を早期に制定し、その保全とともに緑を愛する心の運動を展開する。
 - (ホ) 最近、三崎牛の減少とともに、頂上付近の採草地が荒廃しつつあり、地主と地域ぐるみでの貴重な「財産」を保全・促進する。
 - (ヘ) 地区毎に日常気軽に利用できるみんなの広場の整備を推進する。
- 二 救 急**
- (イ) 分署・救急車・医療機関の三者を結ぶ救急医療システムを整備し、救助活動の迅速化を図る。
 - (ロ) 救急体制の確立により、複雑化する災害に対処する。



- 三 消 防**
- (イ) 現在、八幡浜市と西宇和五町による広域消防体制づくりがスタート(瀬戸、三崎)決定しており、今後は消防の応援、救急体制の確立を図る。
 - (ロ) 消防自動車や通信機器、動力ポンプを充実し、災害に対処する。
 - (ハ) 消火栓、防火水槽の水利施設を充実する。
 - (ニ) 少年・少女(チビッコ)防火クラブや婦人防火クラブ等を育成し、防火思想を広め、家庭から火災防止に努める。

い人情が調和した 満ちたまち瀬戸!!をめぐりて

No.5

基本計画、つまり具体的な施策を掲げております。これには現況と問題点や、施策の体系・計画からなっていますが本号では「計画」のみ掲載中です。

第三章 基本計画

- 第二章 健康と生きがいのあるまち**
- 第三 ゆとりある教育と香り高い文化をめざして**
- 二 社会教育**
- (イ) 学習・展示・集会活動の機能をもった、生涯教育の中心核として総合市民センターを建設する。
 - (ロ) 図書館を町民センターに併設し、利用の拡大とサービスの向上に努める。
 - (ハ) 学習機会の増加を図り、ライフサイクルに対応した自主活動の啓発に努めるとともに地域活動への参加を推進する。
 - (ニ) 社会教育関係者の資質の向上により、多様な学習要求に応えるとともに、指導力を
- 三 スポーツ・レクリエーション**
- (イ) スポーツの殿堂として総合運動公園を建設する。
 - (ロ) 社会教育施設として、廃校跡地を整備する。
 - (ハ) 体育スポーツ指導員をはじめとする指導者の発掘と養成に努め、スポーツリーダーバンクを充実する。
- 四 文化行政**
- (イ) 美術品・民俗資料等の展示・文化発表会のできる文化施設の整備を図る。
 - (ロ) 文化団体の育成と文化ボランティアの充実を図る。

- 第一 快適な生活基盤の充実をめざして**
- 一 こみ・し尿**
- (イ) 町民の協力により、ごみを分別収集し、ごみの再資源
- 第二章 わざのあるまち**
- 第三 快適でやすらぎのあるまち**
- 第一 快適な生活基盤の充実をめざして**
- 一 こみ・し尿**
- (イ) 町民の協力により、ごみを分別収集し、ごみの再資源

- 二 簡易下水道**
- (イ) 生活排水路を整備して、快適な住環境の改善に努める。
- 三 墓地・火葬**
- (イ) 三崎町・伊方町との広域火葬場の建設を推進する。
 - (ロ) 墓地公園の建設誘導を促進し、無許可墓地の設置を防止する。
- 四 海洋保全**
- (イ) 不法投棄の監視や広報活動を強化し、町民総参加で川や海の美化を進める。
 - (ロ) 清掃事業に対する理解を深め、美化思想の向上と美化運動の促進を図る。
 - (ハ) 全町民にこの運動への積極的参加を促し、連帯を強化する。



人々のうごき
(1月末日現在)

本籍人口	15,271人
世帯数	1,266戸
人口	3,802人
男	1,737人
女	2,065人

昭和58年12月分
末長くお幸せに

お誕生おめでとう

おくやみ

おわび訂正
広瀬一月時、最終ページの結婚の項中、小島の一島由光子(五女、光子さん)とあるは「島田久」(五女光子さん)の誤りでした。おわびして訂正します。

潮風

町は農業振興策として、モノレールやハウス施設の補助金を出している。これは正しい財源の中から補助金で助成の措置に昭和五十七年度から進めているものだ。このうちモノレールは大変好評で利用者が多いが、反面、ハウス施設での要望は多く、ついに十二月補正で七十二万円の予算を

全額減じた。ミカン山の植栽かけは地形的条件で難しいことも考えられるが、しいたけ栽培や早稲こき、エンドウなどの野菜栽培等利用形を考慮し、高次を農業を進めたいものだ。

▼六ページに掲載のとおり、毛利先生に本町から名誉町民賞が贈られることになった。贈賞は現在、作成中であり、授与は三月になると予想される。毛利先生からの本町民へのメッセージは四月号の紙面に掲載したい。

▼昭和五十八年度愛媛県広報コンクールで広報せとと十月号が「入賞」又、写真自由の部では一本の綱に全力を分が「特選」となりました。写真は町民運動会での卓球チームの横引きです。これは県代表として全国大会へ出品しました。役員一同、二年目の春、に喜んでいきます。これとえに皆様の応援の賜と感謝しております。これを足掛かりに五十九年度は「一層充実した広報」(読んでもらえる広報)、「みんなの広報」を目指して前進しなければなりません。尚一層のご支援、そしてご協力を。

消防団出初式挙行 防災に決意もあらた



恒例の消防団出初式が一月七日(土)夜宵多数を避え盛大に挙行された。近年、消防力の充実とともに、大法会では常時、郡大会上位入賞と県大会へと目ざましいものが見られるようになっている。今年も功勞のあった多くの団員又一般人に表彰・感謝状が授与された。(敬称略・順不同)

愛媛県知事表彰
功勞章 岡本道男 団長
松代芳春 団員
自治体消防制度発足35周年記念表彰
小西古志光 団長
飯塚 官喜 団員
愛媛県消防協会会長表彰
功績章 阿部一正 副団長
規津章 石崎剛夫 副分団長
勳章章 阿部 廣 団長
谷本正志 団長

八西消防連合会長表彰
第八分団 昭和四十八年五月十三日から四十九年八月間
功績章 石崎秀幸 副分団長
官原隆市 団員
清水軍太郎 団長

町長表彰
佐々木雅志 分団長
山口啓一 団長
和泉 清 団員
阿部光衛 団員
仲村進一 団員

感謝状
愛媛県消防協会会長 感謝状
30年以上勤続消防団員家庭内助の功
山口シゲ子 小島 阿部綱代 川之浜

町長感謝状
毛利守一 東大坂市 阿部車市 阿部 康 兵頭信義 備本義則 山上安志 以上川之浜 上村博康 福成 坂内克男 大久 功績章 中山義一 団長 勳章章 山本真平 副分団長 片山早太郎 分団長 井上一二 団員 矢野 謙 石本末吉 団員